

**JR東労組**  
**大宮**  
2025年3月27日 第290号

〒330-0813 埼玉県さいたま市大宮区御前町530  
電話 048-543-6655 FAX 048-631-1441  
J R TEL 064-5844-5 J R FAX 064-5846  
email: onivo-chiben@osu-orina.in

発行人 川澄 新一 編集人 小宮 裕幸

J R 東労組大宮地本の  
ホームページは  
こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

# JR東労組大宮地本 第25回定期委員会を開催!



2025年2月16日  
さいたま市文化センター

## 主催者あいさつ(要旨) JR東労組大宮地方本部 川澄執行委員長

大宮地本は、春のたたかいかいとして『25 JR総連春闘の勝利』と『あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかいかい』の二本の柱で取り組んでいます。今日の定期委員会を通じて、更に職場からたたかいかいを創り出していきたいと考えます。

『25 JR総連春闘』は要求を掲げスタートしました。春闘集会で提起し、討議資料も発出しているので細かくは触れませんが、会社の支払い能力は十分にありません。そして、この間を見れば世間相場にも届いていない現実が明らかになりました。すると、問われるのは私たちと会社との力関係です。力とは何かを考え行動に移していきたいと思います。そして満額獲得の勝利に向けて取り組んでいきましょう。

もう一つの柱『あらゆるハラスメント、不当労働行為を許さないたたかいかい』についても同様です。ウソをついた人が許されて正直に話した人のみが罰を受けています。また事実と異なる経過で二重の処分が出されています。このような事を許す訳にはいきません。私たちは、八王子で発生した、被害者が加害者にされた暴力事件を知らない組合員をつくらないと対話貫徹に向けて取り組んできました。そして、多くの職場でこれまでできなかった対話貫徹を実現しました。これがなぜできたのかを明確にし、今後のたたかいに生かしていかなければなりません。

また、職場では現在過半数代表者選挙を行っている所や、これから控えている所もあります。これまで全ての所で組合員以上の票を得ています。勝利している職

場も多くあります。より働きやすい職場をつくるには、働く側から声を出していかなければなりません。多くの票を投じてくれた人たちや、職場に不満を持っている声なき声にこたえ、すべての箇所で勝利に向けて取り組んでいきます。

今ほど労働組合が求められている時はないはずなのですが、現実には「過去のもの」又は「時代遅れの人達たち」のようになってしまっていないでしょうか。私は、このままでは労働運動自体が絶滅してしまうのではないかと危惧しています。かつて地球上では多くの動植物が絶滅しましたが、その原因は大きく分けると3点あると考えています。1点目は時代の変化に対応できなかつたこと。2点目は子孫の繁栄ができなかつたこと。そして3つ目は、これは主に人間によるものなのですが、金儲けのための乱獲です。これを私たちが教訓化すると、1点目の「時代の変化の対応」は、加速するAI化の中で労働組合としてどう向きあうのかという事が問われています。今後、私たちの仕事の多くが機械に置き換わります。その中で人間労働をどう残すのか。安全をベースにしつつ考え、提言する力をつけなければなりません。

また、春闘もそうなのですが新たな人事賃金制度も見据えて我々の賃金はどうかあるべきかを考えていきます。2点目の「子孫の繁栄ができない」という事は、私たちがいば担い手づくりということですが、当然ですが、東労組運動を担う人がいなくなれば組織はなくなりません。そして、加入する人がいなくなれば将来的に消滅してきます。そうさせないためには、新たな運動の担い手を創ると共に組織拡大を目指していかなければなりません。そして3

点目の「人間による乱獲」による絶滅、こ

れが最近はい多いようですが、これは我々のいえば私たちの組織を壊そうとする者とのたたかいかいです。

不当労働行為も、これだけ議論し「撲滅宣言」まで出してもなくならないのは、もはややらせている人がいるのでしょうか。えん罪、浦和電車区事件では、「組織を半分にしてやる」と言われる中で私たちのたたかいかいで組織を守り拡大してきました。今こそ、私たちの東労組を破壊し絶滅させようとする者とは断固たたかわなければなりません。その決意を固めたいと思います。あらゆる手段でたたかえる組織を早急に確立し、職場からたたかいかい抜いていきましょう。

18春闘の大敗北による大量脱退からまもなく7年が経ちます。皆さん、この7年で職場は働きやすくなったでしょうか。本当にいい職場になったでしょうか。もはや言うまでもないと思います。これを打ち破るのは東労組が団結してたたかうしかないということを確認して、この7年間を総括しなければなりません。

今年には戦後80年を迎えます。しかし、世界では戦争が続く多くの罪のない命が今も奪われ続けています。遠い所の話かもしれないけれど、そこへも想いを馳せて行動できる我々を確立しなければなりません。第3次世界大戦という言葉も出てきていますが、いつ我々もそのような状況になるか分からない世界情勢となっている事は間違ありません。8月30日には平和集会を行います。多くの参加で創り出していきたいと考えています。

今日の委員会を通じて、25 JR総連春闘を連帯強化で勝利し、あらゆるハラスメント・不当労働行為に決着をつけるためのたたかいかい意思統一をお願いします。

### 委員発言(要旨) 職場でたたかう仲間が力強く発言!

#### ①25春闘あらゆるハラスメント

◆企業の上上げ表明は生産性向上と利益追求を目指しており、労働者のためではない。職場の努力により支払い能力は十分。あとは組織力だ。代表選と共に組織強化で勝利していく。

◆武蔵小金井駅暴行事件の対話行動を支部内全分会で開催。支部も汗をかき、職場回りを行い貫徹。己が決意し行動して雰囲気を変えた。今までの「下駄を預けるたたかい」を克服し、ハラスメント・不当労働行為を許さずたたかう。

◆分会総対話貫徹した。執行部で意思統一を行い、課題を踏まえ各自が責任感を持ち行動。ハラスメント・不当労働行為が相次ぐ中で対話貫徹し、たたかう体制を構築できたことは成果。

◆続発する不当労働行為に対して問題意識を一致させ、職場集会を開催し、不当労働行為を受けた仲間と共にとたたかう体制を構築してきた。

◆不当労働行為を繰り返し、嘘をつき続け職場でのさばっている副長を許せない。交渉で曖昧な回答しかしない会社に強い怒りを持つ。

◆職場で発生した不当労働行為に対し抗議したが、一人一人がたたかう意志を持つことが重要。団体交渉を支える体制や掲示の作成など、職場から共にとたたかう体制づくりを進めてきた。

◆不当労働行為に対し危機感を持たなければならぬ。調査が不十分で団交が中断し一年以上再開しないなど、不誠実な対応が続く現状を変えなくては新たな被害を生み出しかねない。交渉を行うのは労働組合の務めだが、対立の確認だけでは解決できない。あらゆる手段を活用し経営体質を是正させることも労働組合の役割ではないか。

◆パワーハラ労災のたたかいについて。会社の強権的姿勢と労基署の決定を前にして動けなかった。しかし、組織破壊を許せないとの思いで緊急職場集会を開催。仲間から「会社は私たちが諦めるのを狙っている」との指摘を受け、思いのみでたたかっていたことに気づいた。現在懲罰的日勤教育は行われていない。労災申請をしたからこそ真実が明らかになり攻撃を防いでいる。これこそが労働組合の存在意義だ。「絶対に職場復帰させる」との思いでたたかっていく。

◆自分の弱さを出し合い、乗り越えるために何をすべきかを議論した。分会執行部は変わり対話も貫徹し、たたかいて前進した。仲間を必ず職場復帰させ、一万人組織を本気で作り上げる。

#### ②組織強化・拡大に向けたたたかい

◆1名の組織拡大を実現した。本人の状況を聞き、すぐに行動した仲間の成果。今後も相談できる組織でありたい。

◆支部と昼食意見交換会を定例開始し、情勢を共有化。期末手当の本部激励や報告集会への参加に繋げてきた。今後

も開催し、組織強化をめざす。

◆何度も集まる場を作り議論を重ね、それぞれが実践し過半数代表選に勝利した。組織強化を課題として、人を置いて担い手を意識してたたかいは拡げることが勝利の根拠。

◆過半数代表選に不安もあったが、仲間との議論で転換し、危機感を強く持ち職場内に広めた。他職場のたたかいは我が物とし各リーダーが実践。多くの仲間が自分事として考えてくれた。社友会では絶対にできないたたかいだ。

◆組織再編で組合員の多くが転勤し、厳しい現実もあったが、「やるべきことをやろう」との仲間の声を受け、奮起して過半数代表選をたたかう。パワーハラや不当処分が横行する職場にたくない。知らない仲間にも働きかけ、会社への不満の声を形にしてたたかっていく。

#### ③業務課題・施策検証のたたかい・平和活動について

◆要員不足など職場の問題に対して意見を聞かない会社姿勢に怒りを持つと、声が非組合員からも出ており、職場が少しずつ一体化してきている。これを組織強化・拡大につなげていく。

◆監視カメラや車両センターへの移動時の自転車等の問題がある。会社はコミュニケーションを図ると言いつつ、声をかけるのは休日出勤の時だけ。問題を発生する度に分会で情報化してきた。

◆改札にインターホンが設置され係員が不在に。業務軽減と企画業務推進が

目的だが、要員削減への危機感を持つ。

◆利用者に経営の都合を押し付ける姿勢では信頼は得られない。改札が無人的にイベントには駅員がいる姿を見て旅客はどう思うか。議論を広め安心して働ける職場実現に向けたたたかう。

◆電力設備技術センター化から1年が経過した。支社と一体化されたが要員は増えず、負担は増大。事故対応などで本来業務が後回しに。業務量があまりにも多く、夜勤の前後にも超勤。離職が相次ぎ技術継承も進まない。

◆工務職場での事故が相次いでいる。吉川変電所の事故では停電が発生。一歩間違えれば死につながりかねない。変電業務のメセ移管が行われたが状況は改善されていない。在来線保線部門の見直しも提案された。しっかりと現状をつかみ意見集約していく。

◆沖縄研修に駅の仲間が参加。戦争に駆りだされた若者のことを知り、戦争を絶対に起こしてはならないと意識し行動してくれている。戦後80年の節目を前に課題を共有する事ができた。



**総括答弁(要旨)**  
**J R 東労組大宮地本**  
**唐紙書記長**

25春闘については、J R 総連スローガンのもと、ベア一律15000円をはじめとする具体的な要求を統一要求・統一闘争で支部・分会・部会が一体となつてたたかい抜いていきます。地本は職場討議資料を活用したアンケートの取り組みを提起してきました。会社の支払い能力は、第3四半期決算を見れば、十分あります。昨年の賃上げは、ベアが平均10598円、定期昇給を合わせて5.01%です。経団連が調査した大企業の平均は5.58%です。

大企業の内部留保金は588兆円です。このような現実を見れば、成果の公正な配分などありません。私たちは労働者であつて、労働力を売ってしか生きていきません。資本家は労働者をこき使い、利益を上げ続ける、この仕組みは変えることはできず、やはり賃金は労働者が団結してたたかい取るしかありません。私たちが先行して成果を引き出し、バス関東本部、ステーションサービス協議会の仲間と共に最後までたたかい抜きます。

また同時期議論になる夏季手当については3.2月を要求しています。判断基準となる第3四半期決算は増収増益で満額支払う根拠があります。年間6か月以上の期末手当の水準を勝ち取っていきます。あわせて、グループ年度経

営方針の社長メッセージで支社再編や人事賃金制度の改正に言及しています。新たな施策に対する5本柱の「年功賃金の廃止反対！手当・定昇カットなど生涯賃金の減額反対！更なる成果主義型への変更を許さずたたかう！」を基軸に問題意識の一致を図っていきます。

あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかいについてです。定期中央委員会までに「武蔵小金井駅暴行事件を知らない組合員をつくらない」とを提起し、全組合員への総対話と周知を99%の組合員に貫徹しました。多くの代議員から成果が語られています。今後は本部から提起されている闘争支援や各支部・分会で創意工夫した物心両面の支援をお願いします。

次に平和の取り組みについてです。戦後80年を迎える中で日本は平和主義を貫き、戦争をせず、他国の戦争に加担もしていません。憲法9条の「戦争の放棄があるからです。改めて憲法9条の重要性を認識する取り組みを創り出していきます。7月には参議院選挙があります。J R 東労組と理念を同じくする議員を国政に送ることで憲法9条を守るたたかいは創り出します。

最後に不当労働行為に対する今後のたたかいについてです。大宮地本は、労使の基礎的条件である「6項目」にある「労働協約に則り、労使間の諸問題は速やかに団体交渉における話し合いにより解決すること」を愚直に守り、粘り強く労使議論を行ってきました。しかし、

大宮支社は元大宮運輸区組合員の不当処分・不当転勤の交渉では、一人の懲戒に関わるものとして面談内容の議論を拒否しています。このことは明らかに労働協約第18条の団体交渉事項「懲戒の基準に関する事項」の労働協約違反です。現在行われている元小金井運輸区ときいたま運輸区で発生した不当労働行為については、組合の指摘を認め管理職には処分が出されましたが、嘘をついて逃げ回っている者は不問となつていきます。被害を受けた組合員への調査を求めて、継続議論となつていきます。小山運輸区の手回しセンターへ移動する自転車を一方的に使用中止したことに対する交渉では、問題の核心となる議論を「この場になじまない」と拒否しました。労使慣行の一方的な変更は違法であり、信義誠実違反、不当労働行為であることを通告しています。

大宮地本は現在交渉中の団体交渉に真摯に向き合い解決を求めていきます。団体交渉で解決できない場合は、全組合員と職場討議を行った上で、ありとあらゆる手段を活用するたたかいに決起していきます。不法行為を繰り返すJ R 東日本の経営体質を是正する闘いを貫徹していきます。春のたたかいの2本柱、「2025 J R 総連春闘勝利に向けたたたかい」「あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかい」を組合員とともに実践することを通じて、更なる組織強化・拡大と1万人組織を実現していきます。

**定期委員会をリードした議長団**



宮総支部・渡邊委員

浦和支部 根岸委員

**発言された12名の委員**

(順不同・敬称略)

- 宇都宮: 山田・渋谷・金杉
- 大宮: 扇子・住谷
- 浦和: 山口・長瀬・高橋
- 宮総支部: 宮尾
- 支部: 山下
- 会: 武井・中村

委員会宣言

JR東労組大宮地本はさいたま市文化センターにおいて「第25回定期委員会」を開催し、2月6日に行われたJR東労組第51回定期中央委員会で決定した、2025JR総連春闘方針に基づき、ペアー一律15,000円満額獲得に向けてたたかうこと、そして「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」において個人訴訟に立ち上がった若き組合員の決意に応え、全組合員と共に裁判支援闘争をたたかい、抜くことを満場一致で確認した。

会社は「コロナ前の収入には戻らない」と予測したが、着実に鉄道利用は増加し、インバウンド需要も過去最高となり、第3四半期決算では増収増益、純利益も好調で年度末の目標をすでにクリアした。同時に本体の人件費は下がっていることから、会社の支払い能力は十分にある。多くの職場では要員不足の実態があり、働き度は増している。「連携と融合」が進む一方で希望しない異動など精神的にも苦勞し、さらに教育・訓練が不十分な中、事故・事象が増加し安全が脅かされている。多くの社員は休日出勤や時間外労働で心身共に疲弊し、多能化など施策のスピードに追いつかず、タブレット配信のみで管理者間・社員間のコミュニケーションも希薄になり社員の心は離れ、一方的で異常な職場管理が覆い尽くし、そこに人の温もりを感じることは出来ない。

一方、終わりの見えない物価上昇に賃上げが追いつかず、生活実感は厳しさを増している。経営側による景気的好循環をめざして行われている政労使議論に惑わされることなく、取り巻く情勢を把握して堂々と要求を掲げ、満額獲得に向けて全力でたたかう！

あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さないたたかいは、職場からの怒りと、それに基づく組合員との信頼関係を基礎とした連携によるたたかいで団体交渉に高めて会社と向き合ってきた。しかしその回答は真実に向き合わず、会社幹部、管理者の自己保身により不誠実な回答に終始する姿勢は、労使議論で解決していくとした労使の基礎的条件「6項目」にある「労働協約に則り、労使間の諸問題は速やかに団体交渉における話し合いにより解決すること」を会社が自ら反故にしている。

大地申第16号、宇都宮運輸区での懲罰的日勤教育とパワハラは原因究明を蔑ろにし、本人への責任追及を貫く会社姿勢や第5回交渉から394日が経過してようやく第6回交渉が行われたことは問題解決に向き合う姿勢にない事は明らかだ。また大地申第20号「大宮運輸区で発生した不当処分・不当転勤の撤回を求める」緊急申し入れについては、7か月間、計6回に及ぶ団体交渉が行われ、職場として業務指示違反の認識がないことや「二重の処分」として現場長が異動の事前通知を行ったことを一致させたが、処分と転勤撤回については対立して終えた。団体交渉の中では事実を合わせるための「組合員と管理者との面談内容」等が一切示されず、不誠実交渉であり労働協約違反であることを通告してきた。

不当労働行為について、小金井運輸区で脱退懲罰を行い、組合の指摘を認めた管理者5名のうち3名には処分が発令されたが、2名は嘘をついて逃げ回っていることから、被害を受けた組合員への調査を求め、継続議論としている。また、さいたま運輸区で脱退懲罰を行った管理者も「事実がなかった」と嘘をつき続けているため、事実経過を一致させ、原因究明と再発防止に向けた具体的対策を求め、中断している。

大宮地本はこれまでも不当労働行為に対し、職場からのたたかいと団体交渉で解決を図るため、7本の申し入れを行い、会社に「不当労働行為と捉えられかねない事象」として認めさせ、その都度議事録確認も行ってきた。私たちはこうした会社姿勢に対し、労使議論を愚直に守り、交渉の中で粘り強く指摘してきたが、未だ根絶には至らない。私たちは労働者の利益を守り抜くため、労使で内容を一致させた「不当労働行為撲滅宣言」を遵守させ、労働組合として堂々と団体交渉で問題解決を図っていく。しかし、解決できない場合は職場討議を行い、あらゆる手段を活用することで、不当・不法行為を繰り返すJR東日本の経営体質を是正するたたかいを推し進めていく。

職場活動のさらなる強化によって、「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出すために、経営のパートナーとされる社友会との違いを明確にして、過半数代表者選挙の勝利に向けて実践していく。そして施策の検証を強化し、問題や課題を明らかにして全組合員で会社施策と経営姿勢に立ち向かい、不当・不法行為に悩む苦しみ仲間へ寄り添い団結・連帯を強化していく。

今年は戦後80年を迎える。大宮地本主催「8月平和集会」で確認した平和の大切さ・尊さを我がものとして、地域の方々・自治体や議員等との連携で憲法9条を守り広める平和運動を推し進めていこう。そしてJR羽越本線脱線事故、JR福知山線脱線事故から20年という節目を踏まえ、安全の危機に対し過去の事故・事象から真摯に学ばなくてはならない。その教訓は「責任追及から原因究明へ」であり、安全風土再確立のための職場議論を創りだしていく。

職場現実に即した取り組みやレク・サークルなどで培った人間関係を基軸に、「抵抗とヒューマニズム」の精神で更なる組織強化・拡大と1万人組織の実現に向けて、職場から全組合員でたたかいを推し進めていこう！  
以上、宣言する。

2025年2月16日  
東日本旅客鉄道労働組合  
大宮地方本部  
第25回定期委員会

無料 法律相談  
4月11日(金)  
13:30~15:00  
場所：大宮地本会議室  
相談日の5日前までに、地本又は各支部へ連絡して下さい。  
お気軽に相談を！

申16号緊急再申し入れ 会社回答が示される！

回答以降、緊急アンケートに昨年を大きく上回る25000件を超える声が集まる！

しかし会社回答は

格差ペアについて  
「所定昇給額を用いてペアを実施することは合理的な差である」  
「実施方法は妥当」最大限の回答！  
再考せず！

本部は職場の声と納得できない理由を

最大限訴え、撤回を求めたが...

組織強化・拡大の教訓と今後の課題を明確にし、経営姿勢に立ち向かう意思統一を行い、妥結を判断！

ペアの格差拡大を許さず、働く者へ報いない会社姿勢を正すためにたたかう！

第22回ボウリング大会

- 日にち：2025年 5月14日(水)
- 時間：受付開始 13時30分～ 開会式 14時00分～ スタート 14時15分～
- 場所：ユニクスポウル南古谷 (JR川越線南古谷駅下車徒歩8分)
- 参加費：一人2,000円(小学生以下1,500円)  
※シューズを借りる場合は別途400円必要
- 申込締切：5月1日(木) ※参加希望者は分会、支部、地本まで

第3回レールクラブ運転会

とき：2025年5月31日(土) 11:00~16:00

場所：大宮総合車両センター資料館  
参加費：1人500円(小学生以下無料)

鉄道模型は各自で持参してください！

